



第7号 平成28年3月31日

### 生涯学習・地域連携部門 平成27年度の事業

北海道教育大学「学校・地域教育研究支援センター」生涯学習・地域連携部門は、①生涯学習に関する調査及び研究、②生涯学習指導者の養成及び研修、③リカレント教育及び公開講座等地域への大学開放事業の実施、④ 地域貢献及び地域連携に関する企画及び推進に取り組むこととなっています。平成27年度には以下の事業に取り組みました。

#### 【生涯学習・地域連携部門 平成27年度事業】

- 北教大公開講座の募集お、パンフレット等作成、道民カレッジ登録
- 道民カレッジ大学インターネット講座への講師派遣、釧路校准教授小野亮祐先生、「外国曲から始まる日本の学校唱歌-リタが歌いマッサンは驚いた?!-」、<http://www.hsgk.jp/kouza/> 配信中
- 文部科学省委託：社会教育主事講習の実施（7月26日～8月16日）
- 教員免許状更新講習において「学校・家庭・地域を結ぶ社会教育」を開講（札幌校会場：12月12日）
- 道内社会教育施設との連携共催事業「かるちやるガーデン2015」開催（11月29日）
- 生涯学習に関する専門職養成講習プログラムの共同研究（北海道大学・北海道教育委員会生涯学習推進局）
- 学校図書館司書への研修に関する調査結果の教大協での報告
- 全国国立大学生涯学習系センター協議会と文部科学省との意見交換会（7月7日）
- 第37回全国国立大学生涯学習系センター協議会（主管校：金沢大学、9月10日～11日）
- 道教委、市町村教委等からの事業協力要請、相談等への対応ほか

### 平成27年度 公開講座の実施について

平成27年度には、前期、後期全学であわせて、授業公開講座79講座、一般公開講座25講座、現職教員等公開講座30講座が開講されました。開講いただいた先生方、運営にあられた各キャンパス事務局担当の皆さまにお礼申し上げます。

例年、後期開講では7月中旬、前期開講では1月下旬が登録締めきりとなっております。開講よろしくお願いたします。

また、本学の公開講座実施の充実を図るため、先生方からのご意見を踏まえ、継続的に開催する一般公開講座において、必要な資機材についての支援を行っておりますので、センターまでご相談ください。今後も、運営体制等の見直しを随時進めていきます。お気付きの点、ご意見等お願いたします。

なお、公開講座等の開講については、大学ホームページでも周知しており、これまでの講座タイトルなども閲覧できます。

(URL <http://www.hokkyodai.ac.jp/general/>)

### 本学の公開講座実施状況

年度	講座数（内訳）	延受講者
H19	74講座（一般12、授業60、高大連携1、現職教員等1）	464
H20	111講座（一般9、授業102）	373
H21	117講座（一般13、授業104）	456
H22	134講座（一般14、授業119、現職教員等1）	488
H23	142講座（一般15、授業126、サテライト開設記念1）	676
H24	144講座（一般21、授業123）	633
H25	139講座（一般17、授業103、現職教員等19）	582
H26	132講座（一般18、授業81、現職教員等33）	564
H27	134講座（一般25、授業79、現職教員等30）	538

### H27年度一般公開講座開講状況

	前期公開講座名	開講教員
札幌校	文学に見られる動物たち(IX) ー羊ー	後藤秋正、西原千博、中島和歌子、馬場俊臣
	小学校英語教育指導者資格認定講座（6科目実施）	萬谷隆一、浦野研、横山吉樹
函館校	欧米を知るー非英語圏を中心に	木村哲也
	いろいろな無理数	後藤泰宏
	廃校跡施設を活用した「おたがいさま」のまちづくり	齋藤征人
旭川校	子どもの表現を読み取り、元気にする描画指導	橋本忠和
	小学校英語教育指導者資格認定講座（3科目実施）	ウォッグ・スッピン、石塚博規
釧路校	ふまねっと健康教室	北澤一利、平岡亮
	体操教室	山本悟
	小学校英語教育指導者資格認定講座（4科目実施）	松崎邦守、マシオン・ステュアート、中村典生
岩見沢校	マスコミ出身・宇田川教授の目からウロコの経営学	宇田川耕一
	エンジョイランニングライフ(Quality Of Running Life)!	杉山喜一
	子育てとヘルスプロモーションI～乳幼児期・成長期からの健康問題と向き合う～	寅嶋静香
	子育てとヘルスプロモーションII～乳幼児期・成長期からの健康問題と向き合う～	寅嶋静香
各校連携講座	子育てとヘルスプロモーションIII～お子さまの成長期における健康問題と向き合う～	寅嶋静香
	小学校英語教育指導者資格認定講座	萬谷隆一(札幌)、石塚博規(旭川)、中村典生(釧路)

## 平成27年度社会教育主事講習の開催 (7月25日～8月15日)

社会教育主事になるための資格を与える社会教育主事講習は、北海道教育大学が道内で唯一担い、多くの学校教員、自治体職員が受講してきました。今年度も文部科学大臣の委嘱を受け、7月26日～8月16日まで北教大札幌駅前サテライト、石狩市民図書館ほかを会場に開催しました。今年度は、学校教員、自治体職員、団体職員等35名(定員30名)の受講申し込みがありました。

本年度も例年と同じくセンター部門内に、北教大5キャンパスの教員および北海道大学、道教育によるプロジェクトチームを設置し、各専門から検討、準備を行ない実施しました。その結果、受講された皆さまから講義や演習内容の充実、受講者間相互の学びあいやネットワークづくりができたことなどに評価をいただきました。関係の皆さまにお礼申し上げます。

平成27年度においても講習を実施すべく、継続してプロジェクトチームを設置し、北海道大学、北海道教育委員会と連携しながら、プログラムのブラッシュアップを行なっております。

現在、文部科学省では社会教育主事の養成講習にかかわり省



演習授業でのグループ討議

令改正を計画しています。今後、職にあるものの研修を大学が担うことも議論されており、引き続き文科省、道教委、各大学と情報交換を行い、講習の充実や対応を図ります。今後も皆さまのご協力をお願いします。

## 中教審答申学習会

平成27年12月に中央教育審議会から提出された「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について(答申)(略称:地域学校協働答申)」のねらいや社会教育、地域づくり教育との関わりについて、出口寿久北海道大学学務部長(元和歌山大学教授)より、解説をいただく学習会を3月25日に開催しました。

### 【センター部門スタッフ(平成27年度)】

センター長	理事 副学長	城後 豊(6月まで) 蛭田 真一(7月から)
部門長	札幌校准教授	今 尚之
センター員	札幌校教授	古村えり子
センター員	函館校教授	根本 直樹
センター員	函館校准教授	松浦 俊彦
センター員	函館校准教授	村田 敦郎
センター員	旭川校教授	川邊 淳子
センター員	旭川校准教授	角 一典
センター員	釧路校教授	北澤 一利
センター員	教職大学院(釧路)教授	廣瀬 隆人
センター員	岩見沢校准教授	小北麻記子
センター員	岩見沢校准教授	森田 憲輝
事務局	総務課広報・地域連携グループ	係長 川瀧 将之

	後期公開講座名	開講教員
札幌校	教育の世界で生きる技術たちー見直す歴史・見つめる文化・想う未来ー	出口哲久、大矢智、井上祥史、杵淵信
函館校	アルゴリズムとその計算量	金光秀雄
	悪女学	木村哲也
	ゲーデルの不完全性定理とは何だろうか?	後藤泰宏
	福祉士国家試験受験対策のすすめ方	齋藤征人
	魅力大国フランスの実像	藤巻秀樹、古地パメラ、古地順一郎、伊藤成子、木村哲也
釧路校	ふまねっと健康教室	北澤一利、平岡亮
	アイヌアート講座ー阿寒湖畔の森の恵みと造形	福江良純、藤戸康平
	体操教室II	山本悟
岩見沢校	マスコミ出身・宇田川教授の目からウロコの経営学②	宇田川耕一
	エンジョイランニングライフ(Enjoy Running Life)!	杉山喜一他協力スタッフ
	子育てとヘルスプロモーションIVーお子様の成長期における健康問題と向き合うー	真嶋静香他ゲスト講師
	リハーサルの観点と方法について	水田香、松永加也子

## 第37回全国国立大学生涯学習系センター協議会

全国国立大学生涯学習系センター研究協議会は、全国25の国立大学生涯学習系センターにより組織され、国立大学における大学開放や地域貢献等について研究協議を行うものです。北海道教育大学は、平成23年に主管校を務めています。

今年度は金沢大学が主管校となり、全体テーマ「地域における大学の役割と住民の学び・地方創生」について、パネルディスカッション、分科会での研究協議が二日間にわたり行われました。

分科会での議論の結果、専門職養成(社会教育主事)に関する大学間共同研究に取り組むことになり、本学からは角センター員、今部門長が参画することとなりました。

## 社会教育施設との連携事業 「かるちやるガーデン2015」の実施



化石のレプリカ作り受付

11月29日(日)10:00～17:00まで、「かるちやるnet」との連携により、北海道教育大学札幌駅前サテライトにおいて「かるちやるガーデン2015」が開催されました。かるちやるnet(文化施設連絡協議会)は、札幌・江別市内にある社会

教育・生涯学習等に取り組む公的な10施設が連携し、組織された連絡協議会で、事務局は北海道博物館にあります。

本事業は、博学連携のもと道内の児童・生徒ならびにファミリー層の自発的文化活動の振興(文化施設の利用向上)を図ることを目的としたもので、本部門と連携することで札幌駅前において実施できました。本年は昨年のおよそ3倍の300名ほどの児童、父母らが参加。化石のレプリカ、ミニしめ縄づくり、砂絵、読み聞かせなどを体験しました。

北海道教育大学 学校・地域教育研究支援センター  
生涯学習・地域連携部門  
〒002-8501 札幌市北区あいの里5条3丁目  
Tel:011-778-0210(学内51-210)